

事前評価チェックシート

計画の名称： 八戸市における循環のみちの実現（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 ・下水道事業計画による事業認可計画面積4,647haのうち令和元年度末で約3,602haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり上位計画と整合している。	
I. 目標の妥当性 また、下水道事業計画に基づくポンプ場及び処理場整備は概成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとしているものであり上位計画と整合している。	
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
I. 目標の妥当性 ・地域住民の生活環境の改善及び公共水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。	
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 ・整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標は、投資の下水道の普及状況を的確にとらえており、未普及解消に適した指標である。	
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 ・事業内容は下水道整備に係わる事業としており、計画の目標と整合している。また、効率的な下水道施設の管理運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
II. 計画の効果・効率性 ・基幹事業の幹線管きょと市単独事業による端部枝線（単独管）整備を一体的に行うことにより、より一層の下水道未普及解消を図ることができる。	
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 ・地域毎に住民説明を行い、下水道計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	

